

共振現象が起因課題：

スマホをバイクナビ適用後の課題解決技術

○小林達也

(株ヤマコー*1)

Issues caused by resonance phenomenon:

Technology to solve issues after using smartphones
as bike navigation systems

Tatsuya Kobayashi

(Yamakoh)



コロナ渦以前～iPhone 中心にバイク用カーナビにスマホ代用後、写真～動画撮影不可&機能復活 0%現象が多発中（Apple 社は公式に同適用不可～同破損は保証対象外を告知済）。これは特定領域「振動/衝撃」の共振現象が原因でカメラ自動焦点機能（アクチュエータ）制御不能～機能不全。本課題を多種の精密製品の性能～品質 Up に貢献中の「架橋仕様の粘弾性体」で解決～累計 10 万台超の適用技術を報告致します。

Key words : エラストマ、ゲル、アクチュエータ、制振、振動吸収

1. はじめに

オートバイ（以下、バイクと定義）乗車時のスマートフォン（以下、スマホと定義）使用率は 50%超、数十万人（170 万人/国内）ライダーが日常的にバイクにスマホ装着、道案内目的のナビゲーション～音楽プレイヤー活用背景あり。

内蔵カメラ筆頭にスマホは飛躍的に性能と品質 Up 継続中。ゆえに¥10～20 万の高価格帯が一般化。

スマホをバイクハンドルに装着～走行後、写真&動画の撮影不可～同発生後の撮影機能復活 0%現象が多発。撮影不可スマホは保証期間内であれば無償交換の対象。但し、本件トラブル多発から世界最大手スマホメーカーは収益圧迫懸念もあり急遽、多種媒体を活用

し、バイク装着厳禁と併せ、同破損は保証対象外を全世界に正式告知等、スマホメーカーもライダーも想定外の新課題に至る。



国内外バイクアフターパーツメーカー各社は、高価格帯&応用性欠如のバイク専用ナビゲーション機器よりも応用性が高く、手軽なスマホのカーナビ機能を代用促進として、ハンドルへのスマホ装着専用ホルダとマウントキットを積極展開背景あり。